

九州大学大学院統合新領域学府主催・自治体向けワークショップ（後援・福岡県）

公文書管理法時代における地方自治体のとるべき施策

—公文書管理の具体的課題解決に向けて—

- ・ 日 時： 2018年10月18日（木）13:30～16:30（受付開始 13:00）
- ・ 会 場： 福岡共同公文書館・研修室（福岡県筑紫野市上古賀1丁目3-1）
<http://kobunsyokan.pref.fukuoka.lg.jp/>
- ・ 対 象： 福岡県内ほか、自治体および関連団体の総務部門・文書管理の担当者
（福岡県外からのご参加も歓迎します）
- ・ 参加費： 無料（事前申込制）

○ プログラム

(1) 基調講演 13:30～14:15

講 師： 岡崎 敦（九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻・教授）

テーマ： 公文書管理の現在と基本的課題

公文書管理法の理念と公文書管理を取り巻く内外の動向等について概観します。その上で、先進的な取り組み事例や福岡県の実践を通じて、自治体の公文書管理の現場において求められるレベルや現実に起こっている課題への対応、そして公文書の価値とは何か、今どのような発想が求められるのか、などについてお話しします。

(2) ワークショップ 14:30～15:40

公文書管理の課題について、現場レベルで考えます。具体的には以下の4つのテーマ、

- ① 公文書館と自治体との連携、
 - ② 市民への公開と利用、
 - ③ 行政内部での保存と利活用、
 - ④ 現用文書の適切な管理、
- のグループに分かれ、記録管理の専門家によるコーディネーターのもと、参加者間の率直な意見交換を通じて現実的課題を共有し、解決の道を探ります。

（※ 詳細は裏面を参照、お申込み時にご希望のテーマをお知らせください）

(3) 福岡共同公文書館見学 15:50～16:30

【お申込み・お問合せ】

※本ワークショップの広報・受付は、共催企業の株式会社ワンビシアーカイブズに委託しています。

以下のWebフォーム、または、必要事項（所属、氏名、連絡先、希望するワークショップのテーマ等）をご記入の上、FAX またはメールにてお申込みください。

（Web 申込みフォーム） <https://krs.bz/wanbishi/m?f=144>

株式会社ワンビシアーカイブズ・九州支店

Tel: 092-518-1144 FAX: 092-273-2539

Mail: marketing@wanbishi.co.jp

主催：九州大学大学院統合新領域学府

共催：株式会社ワンビシアーカイブズ

後援：福岡県

○開催趣旨

公文書管理法の施行から7年が経過し、この間、地方自治体においても、公文書管理の条例化や公文書館設置へ向けた取り組みが進められてきました。その一方、自治体によっては、各課における管理、特に評価選別や公文書館への移管等の面で問題を抱えたままのところも多いようです。その原因として、公文書管理に対する意識や各課における管理状況、評価選別の基準や方法、情報公開制度や歴史公文書についての対応などが想定されます。

福岡県では、県と市町村の共同方式による福岡共同公文書館の設置・運営という、画期的なモデルケースを提示されました。今、福岡の地から、地方自治体の公文書管理について、具体的な課題解決への道を検討、提案することが要請されているのではないのでしょうか。

今回、福岡県の後援により、株式会社ワンビシアーカイブズとの共催で基調講演およびワークショップによる課題共有と意見交換の場を企画いたしました。ワークショップ終了後には、共同公文書館のバックヤード見学会をご用意しております。今回の企画が、現場で公文書管理にあたる実務担当者の一助となれば幸いです。皆さまの積極的なご参加をお待ちしております。

○ワークショップの内容

4名のコーディネーターによる進行のもと、テーマごとにグループに分かれて討議します。率直な意見交換を通じて、課題や意識を共有し、問題解決のてがかりとなる成果を得たいと思います。

テーマ①： 公文書館と自治体との連携（コーディネーター：岡崎敦）

公文書管理を推進する行政上のメリット、担当部署と公文書館の役割分担、移管促進による現場業務の軽減・効率化と責任の明確化などについて

テーマ②： 市民への公開と利用（コーディネーター：清原和之）

情報公開制度への対応、公文書のもつ公益性・公共性と市民への説明責任、まちづくりへの市民参加や民間企業・団体の関与などについて

テーマ③： 行政内部での保存と利活用（コーディネーター：折田悦郎）

業務の証拠性と現用性、コンプライアンスと行政監査への対応、過去の経験・知識の組織内での共有と新規事業等への援用、他部局による参照・利活用の促進などについて

テーマ④： 現用文書の適切な管理（コーディネーター：青木祐一）

記録管理の4原則（真正性・信頼性・完全性・可読性）の確保、分類整理・文書目録の作成と物理的保存と管理、歴史公文書の取扱いなどについて

○コーディネーター

- ・折田 悦郎（九州大学教授、大学文書館副館長、福岡共同公文書館運営専門協議会委員）

専門は日本近代大学史、アーカイブズ学、大学文書館の運営に永らく関与

- ・岡崎 敦（九州大学教授、国立公文書館「アーキビストの職務基準に関する検討会議」委員）

専門はアーカイブズ学、特に理論的諸問題および専門職養成について

- ・青木 祐一（株式会社ワンビシアーカイブズ・アーキビスト、日本アーカイブズ学会役員）

専門は記録管理およびアーカイブズ学、特に国および自治体の公文書管理の問題について
学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻・元助教

- ・清原 和之（九州大学、日本アーカイブズ学会役員）

専門は現代アーカイブズ学、特に資料管理をめぐる公共性の問題について
学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻・前助教